

地域計画

策定年月日	令和7年3月18日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	東近江市 (252131)
地域名 (地域内農業集落名)	妹 (妹町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	77.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	77.3 ha
② 田の面積	74.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	14.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.9 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

妹町では平成28年度に農事組合法人を設立し農地の集積・集約化を推進してきた。その結果、大型機械による共同作業により農業経営の大きな改善を図ることができた。
しかしながら今後の農業経営の大きな問題点は、他町と同じように農業従事者の高齢化による後継者問題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

法人の栽培形態は水稻・麦・大豆を基本としていく。また、GPS機能を備えた田植機の導入、乗用管理機を導入し作業内容や人員の省力化に取り組んでいく。
農業従事者の高齢化による後継者問題については、地域農業の今後の継続・発展に向けた話し合いを継続していく。特に大型機械による作業人員確保は若い世代への呼びかけにより勧誘しオペレーター要員を充実する。このため、大型免許取得費用の補助を行う。また、農地の日常管理(草刈りや水管理など)を行う農地管理者が高齢化しているため、現在の農業従事者では農地が管理できない時代が必ず到来する。そのため、農地所有者自ら農地の日常管理を行うよう促していく。
また、その他の担い手では野菜やイチゴ栽培により地域農業の活性化を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手による地域農業の今後の継続・発展に向けた話し合いを継続し、地域住民の助け合いによる農地の良好な保全に務める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	72	%	将来の目標とする集積率
			72 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状の担い手への集約を継続維持する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
法人ならびに担い手農業者の継続・発展に向けた話し合いを継続しながら現状を維持していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
妹町では、法人ならびに担い手は農地中間管理機構を活用し農地の集約がされている。
(3)基盤整備事業への取組
現状の施設維持管理を継続する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域農業を支える多様な経営体の参入があれば、市及びJAと連携し推進していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業や収穫・乾燥調整作業はJAへの委託をしている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策に取り組んでいる。(有害鳥獣の追い払いによる防止対策)

③GPS機能を備えた田植機の導入や農業機械の大型化によるスマート農業に取り組んでいる。

⑦地域ぐるみで用排水路の点検整備ならびに清掃作業を行い保全管理に務めている。

⑧用水路の経年劣化により破損や漏水が著しいため、農業水路等長寿命化事業の取り組みを協議検討している。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稲、麦、大豆	50.5 ha	ha	水稲、麦、大豆	50.5 ha	ha		
利用者		水稲、麦、大豆	11.4 ha	ha	水稲、麦、大豆	11.4 ha	ha		
認農		野菜、イチゴ	1.0 ha	ha	野菜、イチゴ	1.0 ha	ha		
認農		水稲、麦、大豆	1.6 ha	ha	水稲、麦、大豆	1.6 ha	ha		
認農		野菜、豆類	0.9 ha	ha	野菜、豆類	0.9 ha	ha		
認農		ムクナ豆の栽培	1.7 ha	ha	ムクナ豆の栽培	1.7 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
その他			10.2 ha	ha		10.2 ha	ha		
計	6経営体		67.1 ha	0 ha		67.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
		乾燥調整	水稻
		乾燥調整	麦
		収穫、乾燥調整	大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。